

新型コロナウイルスを用いた検証試験における対象物資 第4級アンモニウム塩

第4級アンモニウム塩として以下の3サンプルを検証試験の対象としてはどうか。

サンプル番号	界面活性剤の種類の名称を示す用語	界面活性剤の区分*
第4級アンモニウム塩① 界面活性剤⑨	塩化ベンザルコニウム ¹⁾	陽イオン系界面活性剤
第4級アンモニウム塩② 界面活性剤⑩	塩化ベンゼトニウム	
第4級アンモニウム塩③ 界面活性剤⑪	塩化ジアルキルジメチルアンモニウム	

赤色は追加したサンプル

¹⁾ インフルエンザウイルスに対して感染価の低下が3桁未満であったサンプル。新型コロナウイルスに対する効果を検証するため試験対象に含めてはどうか

* 第4級アンモニウム塩は陽イオン系界面活性剤の区分でもある（界面活性剤のページ参照）

新型コロナウイルスを用いた有効性評価にかかる検証試験の計画①

令和2年4月30日 新型コロナウイルスに対する代替消毒法の有効性評価に関する検討委員会 事務局



nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

1/2

同時発表：経済産業省

News Release

令和2年5月29日
N I T E（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
法人番号 9011005001123

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を 公表します（第2弾）

～物品への消毒方法の選択肢がさらに広がります～

2. 昨日5月28日、第4回検討委員会を開催し、新型コロナウイルスを用いた候補物資の検証試験のうち、現在までに得られた結果について検討を行いました。その結果、前回の委員会（5月21日開催）で有望であると判断された塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）及び塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）について、新型コロナウイルスに対して有効と判断されました。これにより、有効と判断された界面活性剤は次の7種となりました。
 - 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%以上）
 - アルキルグリコシド（0.1%以上）
 - アルキルアミンオキシド（0.05%以上）
 - **塩化ベンザルコニウム（0.05%以上）**
 - **塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）【5月28日追加】**
 - **塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）【5月28日追加】**
 - ホリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%以上）

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表します（第2弾）

令和2年5月29日（独）製品評価技術基盤機構

新型コロナウイルスに対し、第4級アンモニウム塩が有効と判断された。